

授業概要

本講義では、中学校社会科及び高等学校地理歴史科に関する理論的・実践的な課題について検討し、それを踏まえて自らの社会科・地理歴史教育の教育観・授業観を再構成することを目的として講義する。本講義は四部構成となっている。パート1では近代国家の成立と地理歴史教育の関係性について検討する。パート2では身近な地域の災害リスクを調査し、発表する。パート3では地理教育・歴史教育の三つの教育観・授業観について検討する。作業課題として、ブックレポートを執筆し、理解を深めていく。パート4では、実際に中高地理歴史の授業プランを構想・発表する。各パートの検討を踏まえて、自らの社会科・地理歴史教育の教育観・授業観を再構成していく。これまでの教育的課題を乗り越えて、新たな地理歴史教育の展望を切り開いてほしい。

授業計画

第 1 回	社会科と地理歴史教育——被教育体験のふりかえり①
第 2 回	近代国家の成立と地理歴史教育——なぜ地理や歴史を教えるのか？
第 3 回	学習指導要領の変遷と社会科授業——通史教育・地誌教育の限界性
第 4 回	身近な地域の教材研究①身近な地域の災害リスク；地理院地図・GIS の活用
第 5 回	身近な地域の教材研究②統計データの活用；e-Stat・RESAS の活用
第 6 回	身近な地域の災害リスクの発表——発表のストーリー・問いの構成と ICT 機器の活用
第 7 回	社会科教材研究・授業づくりと郷土資料館・博物館との連携 ※外部講師講演予定
第 8 回	地理教育の教育観・授業観①教養教育・科学教育としての地理教育
第 9 回	地理教育の教育観・授業観②市民教育としての地理教育
第 10 回	歴史教育の教育観・授業観①実証主義・構成主義的な歴史教育
第 11 回	歴史教育の教育観・授業観②実用主義的な歴史教育
第 12 回	地理歴史の授業プランの構想①学習指導案の構成と学習評価
第 13 回	地理歴史の授業プランの構想②教科書・資料・ワークシート・各種メディアの活用
第 14 回	地理歴史の授業プランの発表①社会科授業分析の視点と方法
第 15 回	地理歴史の授業プランの発表②地理歴史教育の今日的意義と展望（ふりかえり②）
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・地理歴史教育やカリキュラムの歴史的な変遷を踏まえて、地理歴史教育の今日的意義について説明することができる。
- ・地理歴史教育に関する理論的・実践的な課題の検討を踏まえて、自らの社会科・地理歴史教育の教育観・授業観を構成し、説明することができる。
- ・特定の条件下で、地理歴史教材を発掘し、他者にわかりやすく発表することができる。

履修上の注意

本講義は、中学校社会科及び高等学校地理歴史科に関する教育法の講義です。なお、教材発掘や単元プランの構想など、授業時間外での調査や学外施設での調査があることも考慮しておいてください。

予習・復習

講義の中で紹介する関連文献や論文を読み進めて、見識を深めることを期待します。また、ブックレポート課題の詳細などについては、授業の中で示します。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・ブックレポート、教材研究・授業プラン発表：30%
- ・各回の活動・議論、ふりかえりシート：30%

テキスト

テキスト：文部科学省 (2018). 『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編』東洋館出版社。
 文部科学省 (2019) 『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地歴歴史編』東洋館出版社。
 参考文献：渡部竜也 (2019). 『Doing History: 歴史で私たちは何ができるか？』清水書院。
 荒井正剛 (2022). 『中等教育社会科教師の専門性育成』学文社。
 社会認識教育学会 (2020). 『中学校社会科教育・高等学校地理歴史科教育』学術図書出版社。